水食の仕組みと因子に関する次の記述のＡ～Ｃに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

細流浸食を放置したところ，畑の畝間，くぼみなどに雨水などの流出水が集まり，次第にそこを削って，耕作の支障となる大きな溝に発達する現象を［　A　］という。

水食は，一般に土地の傾斜が急になるほど，地表流出水の流れる斜面長が［　B　］ほど，浸食はひどくなる。また，土層の浸透能も水食の程度に影響し，浸透能の小さい土層では，降雨が地中に浸透しにくく，地表流が発生するため，水食が［　C　］。

	A	B	C
1．	面状浸食	短い	起こりにくい
2．	面状浸食	短い	起こりやすい
3．	面状浸食	長い	起こりにくい
4．	ガリ浸食	短い	起こりにくい
5．	ガリ浸食	長い	起こりやすい

1800 m^3（締固めた土量）の盛土を造成するために必要な地山の土量と，ほぐした土量の組合せとして妥当なのはどれか。

ただし，土量の変化率は，ほぐし率を1.2，締固め率を0.9とする。

	地山の土量	ほぐした土量
1.	1500 m^3	1350 m^3
2.	1620 m^3	1350 m^3
3.	1620 m^3	2160 m^3
4.	2000 m^3	2160 m^3
5.	2000 m^3	2400 m^3